

第111回 未来医療セミナー

2021年1月20日(水)18:00-19:00

細胞骨格を制御する因子に着目した 皮膚創傷治癒研究

久保 盾貴

大阪大学大学院
医学系研究科器官制御医学講座 形成外科学 教授



手術後や外傷後のケロイド形成は、生命に直接関与しないため軽く扱われる傾向にあるが、実際は疼痛や痒み・運動機能障害を伴い、治療が奏功しないことも多いため、患者のQOLを阻害する。一方、虚血性潰瘍や糖尿病性潰瘍に代表される極めて治りにくい創を持つ患者も増加しつつある。QOLが重視される現代において、皮膚創傷治癒研究はますます重要になってくると考えられるが、我々はこれまで、皮膚線維芽細胞におけるアクチンとそれを制御する因子の一つであるRhoファミリーに着目し、皮膚創傷治癒の研究を行ってきた。これまで我々が行ってきた「創閉鎖」と「ケロイド形成」の研究を紹介する。

オンライン開催(事前登録制・参加費無料)

参加申込：下記URLからお申込ください。2021年1月18日(月)締切
<https://bit.ly/3qaUonZ>



主催：未来医療交流会

共催：橋渡し研究戦略的推進プログラム
大阪大学「戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現」

後援：大阪大学医学部附属病院未来医療センター

お問い合わせ

未来医療交流会(未来医療センター内)
office@ima-mirai.or.jp
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>

障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は、事前にご連絡ください。